

企業が在宅ワーク導入時に最も気を付けるべきことは

## 「情報セキュリティの担保」

総務省テレワークマネージャー家田氏が語る

“在宅ワークの今後の展開予想”と“企業が在宅ワークを導入する際の障壁”

在宅ワークのメリット、労働者側は「時間を有効に使える」、企業側は「優秀な人材の確保」

～『在宅ワークに関する実態調査』 ※総括編 ～

在宅ワークに特化した日本最大級の求人サイト『ママワークス (<https://mamaworks.jp/>)』を運営する、株式会社アйдマ・ホールディングス（本社：東京都豊島区、代表取締役：三浦陽平）は、2019年1月28日（月）～2月8日（金）までの期間にWEBアンケート、グループインタビューそれぞれで「在宅ワークに関する実態調査」を行いました。その結果、在宅ワークのメリット・デメリットや在宅ワークをしていて大変だったことなどが明らかになりました。本リリースでは、「在宅ワークに関する実態調査」の総括編として、総務省テレワークマネージャー家田佳代子氏より、調査結果に対する見解や在宅ワークの今後の展開予想、企業が在宅ワークを導入する際の障壁などをお聞きました。

### ▼ 在宅ワークに関する実態調査のトピックスと専門家のコメント（一部）

#### ＜WEB アンケート結果＞

- 在宅ワークのメリットは「時間の有効活用」、デメリットは「オンオフが切り替えにくい」などの声が目立った。
- 在宅ワークの主な業務内容は「データ入力・情報収集」、「ライター」がトップ2

#### ＜グループインタビュー結果＞

- 在宅ワークをしていて大変だったことは？

ベテラン（経歴3年以上）：業務ルールが不明確で“在宅ワーカーからの相談に対し適正な判断がしにくい”  
若手（経歴3年未満）：業務内容に対する“疑問をすぐに聞ける環境が整っていない”

#### ＜専門家のコメント（一部）＞

##### Q. 企業が在宅ワークを導入する際のメリットとデメリットは？

- A. 業務の棚卸をして在宅ワーカーに任せる仕事をあらいだすことができれば、**生産性の向上**につながり、**社員が重要な業務に専念**することができると思います。また、家庭の事情でやむを得ず在宅ワークをしている**優秀な人材を確保**できることもメリットの一つだと思います。一方デメリットは、**企業側が在宅ワークを管理する方法について不明確になりやすい**ことだと思います。在宅ワーカー側もどこまでやったらいいかなど、コミュニケーションの方法について事例などを見せる必要があるのではないかと思います。

##### Q. 企業が在宅ワークを導入する上で何か障壁はないか？

- A. 企業のセキュリティポリシーや個人情報保護方針などがありますので、やはり**情報セキュリティの担保が一番気になる**のではないのでしょうか。ここが壁でデータ入力や情報収集位の仕事しか出せないという可能性もあります。プログラマーの場合は個人事業主に対して、監視カメラをつけることを要求する企業もごさいます。

※詳細は次ページ以降にて



【専門家】  
総務省テレワークマネージャー  
日本テレワーク学会会員  
家田 佳代子 氏

※以下、『WEB アンケート・グループインタビュー・専門家のコメント』となります。

#### ▼ WEB アンケート

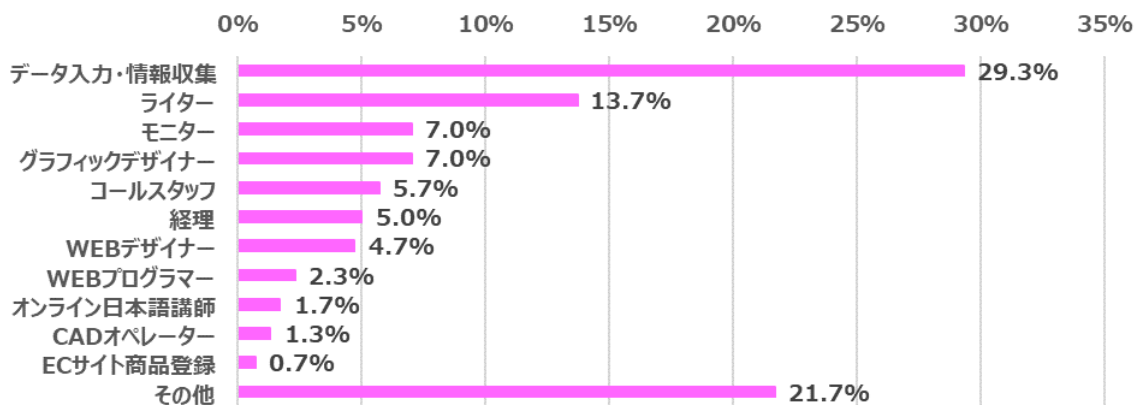
Q. あなたが思う、在宅ワークの“メリット”と“デメリット”をお答えください。【自由回答（任意）】（n=289）

##### <主な回答>

メリット：「時間を有効に使える」・「上司や同僚との人間関係に悩まなくて済む」・「多数の仕事を選べる」  
 デメリット：「オンオフが切り替えにくい」・「収入が固定されず不安定」・「コミュニケーションが減る」

Q. あなたが行う、在宅ワークの主な業務内容をお答えください。【単数回答】（n=300）

##### 「データ入力・情報収集」29.3%が最も多い回答に



#### ▼ グループインタビュー

Q. 在宅ワークをしていて大変だったことをお答えください。

##### <ベテラン（経歴3年以上）>

- 在宅ワーカーの業務をサポートする中で業務ルールが不明確な場合もあり、そのときは、在宅ワーカーからの相談に対してどのようにしたら良いのか判断しにくいことです。
- イレギュラーなことが起こったとき、すぐに聞きたいけど聞かための作業（チャットやオンラインにつなぐなど）が必要だったりするところです。

##### <若手（経歴3年未満）>

- 業務ルールが効率的ではないと認識しながらも、指示された業務ルールにのっとって仕事をしなければいけないことです。
- 困ったときにすぐに対応できないことです。先輩が不在で誰に聞いて良いかわからない状況になることがあります。

#### ▼ 専門家のコメント

非正規雇用という事もあり、経験者のサポートと育成が急務であるように感じました。あまり手厚くしすぎると人件費がかさみますので、費用対効果のバランスを考えるのが難しいのではないのでしょうか。また、CADなどの専門職を在宅ワーカーに任せたいと言う中小企業はとも増えています。企業が在宅ワーカーに頼みたい仕事はもう少し専門的な内容が多いです。在宅ワークは子供や家族をそばにおきながらも仕事ができ、プロセス評価のある企業と違い、成果物で評価されることから企業が課題としている労務管理や人事評価の問題に対する課題感は少ないと思います。ただし、企業が入社3年目以上のレベルの業務ができる人を在宅勤務の対象としているように、初心者に対するケアはかなり必要なのではないでしょうか。

※以下、『専門家への質問・専門家の回答』となります。

**Q. 企業が在宅ワークを導入する際のメリットとデメリットを教えてください。**

業務の棚卸をして在宅ワーカーに任せる仕事をあらいだすことができれば、生産性の向上につながり、社員が重要な業務に専念することができると思います。また、家庭の事情でやむを得ず在宅ワークをしている優秀な人材を確保できることもメリットの一つだと思います。一方デメリットは、企業側が在宅ワークを管理する方法について不明確になりやすいことだと思います。在宅ワーカー側としてもどこまでやったらよいかかわからない場合もあるので、コミュニケーションの方法について事例などを見せる必要があるのではないかと思います。

**Q. 企業が在宅ワークを導入する上でどのような障壁があるか教えてください。**

企業のセキュリティポリシーや個人情報保護方針などがありますので、やはり情報セキュリティの担保が一番気になるのではないのでしょうか。ここが壁でデータ入力や情報収集くらいの仕事しか出せないという可能性もあります。プログラマーの場合は個人事業主に対して監視カメラをつけることを要求する企業もごさいます。

**Q. 在宅ワークをする上で、より働きやすくするために必要だと思うことを教えてください。**

在宅ワーカーのネットワークができてくると、ロールモデルも出てきて在宅ワーカーたちのモチベーションも上がると思います。企業理念のような、迷ったらこの理念に従って自分で考えて判断できるようなものがあるとサポートの方の負荷が減ると思います。

**Q. 在宅ワークの今後の展開予想を教えてください。**

副業が解禁になる企業が増え、今後も在宅ワークは増えることが予想されますが、RPA の登場でデータ入力や情報収集は自動化される傾向にあります。着席でできる仕事はほとんどが在宅勤務可能になっています。情報セキュリティ対策が確立されればさらに範囲は広がるでしょう。

■ **専門家（家田 佳代子氏）プロフィール**



**総務省テレワークマネージャー/日本テレワーク学会会員**

- 自身が母親の介護、育児のWケアのため介護離職を経験
- 半導体メーカーにてテレワークシステムを導入、介護をしながらの業務を可能に
- 鉄道系 IC カード会社にて情報セキュリティ責任者に就任
- 各業界で活躍しているスタッフが集結し、女性支援会社を設立、代表取締役社長兼 CEO に就任
- 大手人材系 Sier にてディレクターに着任、ワークスタイル変革事業立上げ事業責任者、総務省テレワーク実証事業の事業責任者を歴任する他、企業へのテレワーク導入を支援
- よりテレワーク・働き方改革に特化したコンサルを行うべく合同会社ジョイン設立 代表兼 CEO を務める。今後のテレワーク導入の動きについて積極的に発信している。

■「在宅ワークに関する実態調査」の調査概要

**【WEB アンケート】（※リリース内容は以下 URL にて）**

1. 情報公開日 : 2019年2月14日（木）
2. 調査の方法 : WEB アンケートで実施
3. 調査の対象 : 『ママワークス』の会員
4. 有効回答数 : 300名
5. 調査実施日 : 2019年1月28日（月）～2月1日（金）

**▼在宅ワークに関する実態調査（WEB アンケート）リリース内容 URL**

<https://www.aidma-hd.jp/wp/wp-content/uploads/2019/02/news20190213.pdf>

**【グループインタビュー】（※リリース内容は以下 URL にて）**

1. 情報公開日 : 2019年2月26日（火）
2. 調査の方法 : グループインタビュー（オンラインコミュニケーションツールの使用も含む）で実施
3. 調査の対象 : 『ママワークス』の会員
4. 実施人数 : 4名（経歴3年以上：2名、経歴3年未満：2名）
5. 調査実施日 : 2019年2月6日（水）、2月8日（金）

**▼在宅ワークに関する実態調査（グループインタビュー）リリース内容 URL**

<https://www.aidma-hd.jp/wp/wp-content/uploads/2019/02/news0007.pdf>

■引用・転載時のクレジット表記のお願い

※本リリースの引用・転載は、必ずクレジットを明記していただきますようお願い申し上げます。

<例>「株式会社アйдマ・ホールディングスが実施した調査結果によると……」

■本リリース内の調査データについて

回答割合は小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計が100%とならないデータが含まれております。

在宅ワークに特化した日本最大級の求人サイト『ママワークス』とは？



主婦のための求人応援サイトとして、  
働く「時間」と「場所」を自由に選べる仕事や働き方について、  
柔軟にご対応いただける企業様を多数掲載しております。  
サイト開設から4年で月間PV数115万PVを突破し、  
ママワークスの登録会員数は現在10万人となっております。

<https://mamaworks.jp/>

■会社概要

商号 : 株式会社アйдマ・ホールディングス  
設立 : 2008年12月22日  
代表者 : 代表取締役 三浦 陽平  
資本金 : 10,000,000円  
本社所在地 : 東京都豊島区池袋2-6-1 KDX 池袋ビル 9F  
事業内容 : 業務支援事業、就労支援事業、セールステック事業